

平成29年5月24日 都立競技施設 第4回アクセシビリティ・ワークショップ

既存施設のアクセシビリティ改修について (共通編)

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

大会施設部 施設整備第二課

改修の基本方針

＜Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドラインの規定＞

○新設会場→可能な限り「推奨基準」の実現を目指す。

○既存会場→可能な限り「標準基準」の実現を目指す。

※ただし例外的に、構造上の理由等によってやむを得ず標準基準を満たせないと認められる場合は、少なくとも現行の「国の遵守基準」は満たすものとする。

※大会時及び大会後の利用ニーズ、会場施設の規模・用途、現場の物理的制約や維持管理上の課題等に応じて、施設ごとにこれらの基準を組み合わせ対応する場合がある。

＜既存都立スポーツ施設の方針＞

○既存都立スポーツ施設については、施設の特性や今後の更新予定を勘案する必要があるが、出来る限り、推奨基準の実現を目指す。

○ただし、既存施設では、既存の構造躯体や限られたスペースを有効に活用する必要があり、建築構造上、改修が困難な場合がある。

（改修が困難な場合の例）

- ・車いす席の増設範囲は、観客席や通路の形状により制約を受ける。
- ・エレベーターや廊下幅の拡張、スロープの傾斜改善などは、柱・壁等の制約がある。

○過去に実施したバリアフリー改修などにより、一定程度のバリアフリー化が図られている場合には、将来更新するという選択肢も含め、合理的な検討が必要。

改修内容検討の流れと考え方

< Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドラインの規定 >

○組織委員会は、適用対象施設の所有者等に対し、ガイドラインに即した施設建設・改修工事を実施するよう依頼し、まずは恒常的な施設としての環境整備を働きかける。

○ただし、恒常的な環境整備が困難場合、仮設による整備、ソフト的対応(ボランティアによるサポート等)により、ガイドラインを踏まえたサービス水準を確保する。

< 既存都立スポーツ施設の対応 >

① Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドラインに基づき、施設の適合状況を調査。



② 不適合箇所について、適合措置を検討。



③ 改修工事により適合できるものについて、設計を進める。



④ 人的対応など運営面での適合措置が必要なものについては、そのことを施設管理者に周知する。



⑤ 東京2020大会などで通常とは異なる施設利用をする際には、適合状況調査結果を基に必要に応じて仮設などの対応をしてもらう。

主な改修方針

①車いす使用者用スペース及び同伴者用座席の改修の考え方

2. 2. 2 会場の座席

2. 2. 2. 1 アクセシブルな座席

オリンピック・パラリンピック大会を除き、どのようなスポーツイベントでもアクセシブルな座席の最低要件は、総座席数の0.50%である。

[座席の比率] オリンピック大会会場0.75% パラリンピック大会会場1.0~1.2%

2. 2. 2. 2. 同伴者用座席

同伴者用座席は、車いすでアクセシブルな座席と同じ割合(前述のとおり0.5~1.2%)で、車いす用区画の後ではなく、横に準備する。

2. 2. 2. 5 同等の視線

車いす使用者のアクセシブルな座席と前席の床の高さの差は、前席の観客が立ち上がった際にも観覧が可能となるよう、舞台やスクリーン、競技スペース等へのサイトライン(可視線)を確保したものとする。

<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

<車いす席、同伴者席の増設>

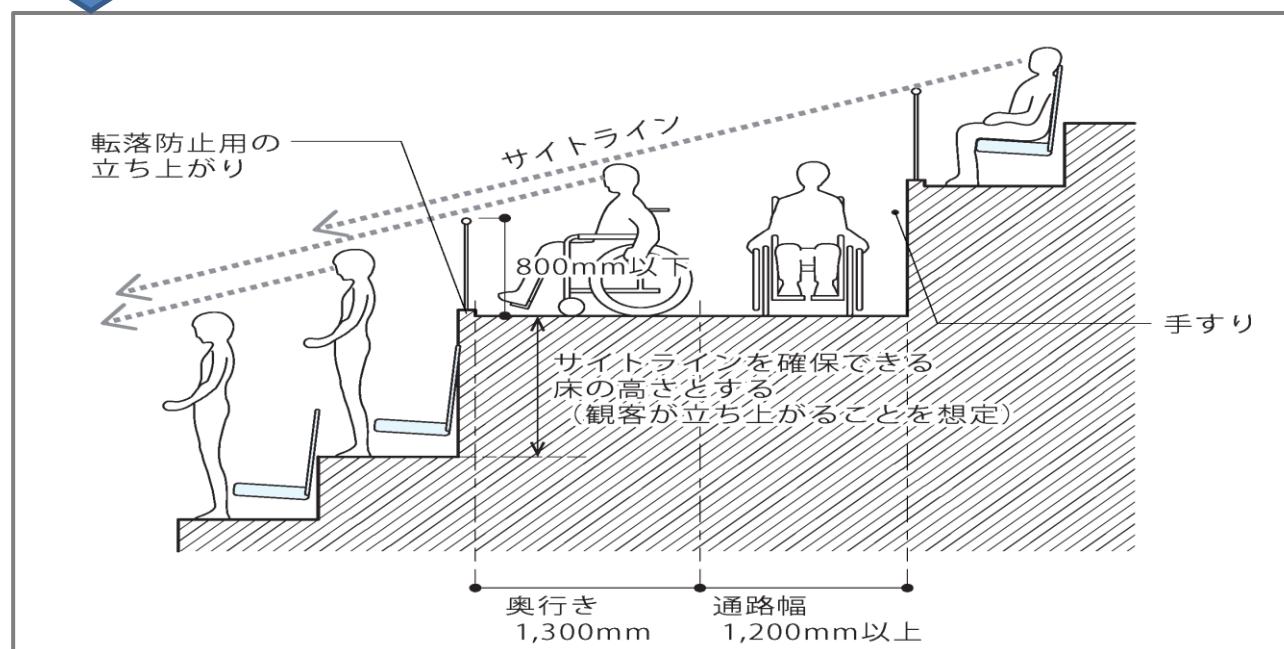
可能な限り総座席数の1.0%を確保。
困難な場合は、0.5%以上を確保。

<サイトラインの確保>

前席の人が立ち上がった際も同等の視界確保を検討。

<設え>

運用に応じてレイアウト変更できるよう、同伴者用座席は可動席とする。



<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

主な改修方針

②付加アメニティ座席の設置の考え方

2. 2. 2 会場の座席

2. 2. 2. 3 付加アメニティ座席

付加(エンハスト)アメニティ座席は、車いすを使用していないが、歩行困難である場合や補助犬ユーザー、足腰・長身・横幅が広い等何らかの理由で配慮された席が必要な人のための席を設置する。当該座席は、設置前方と片側のスペースを通常より広く取っている。

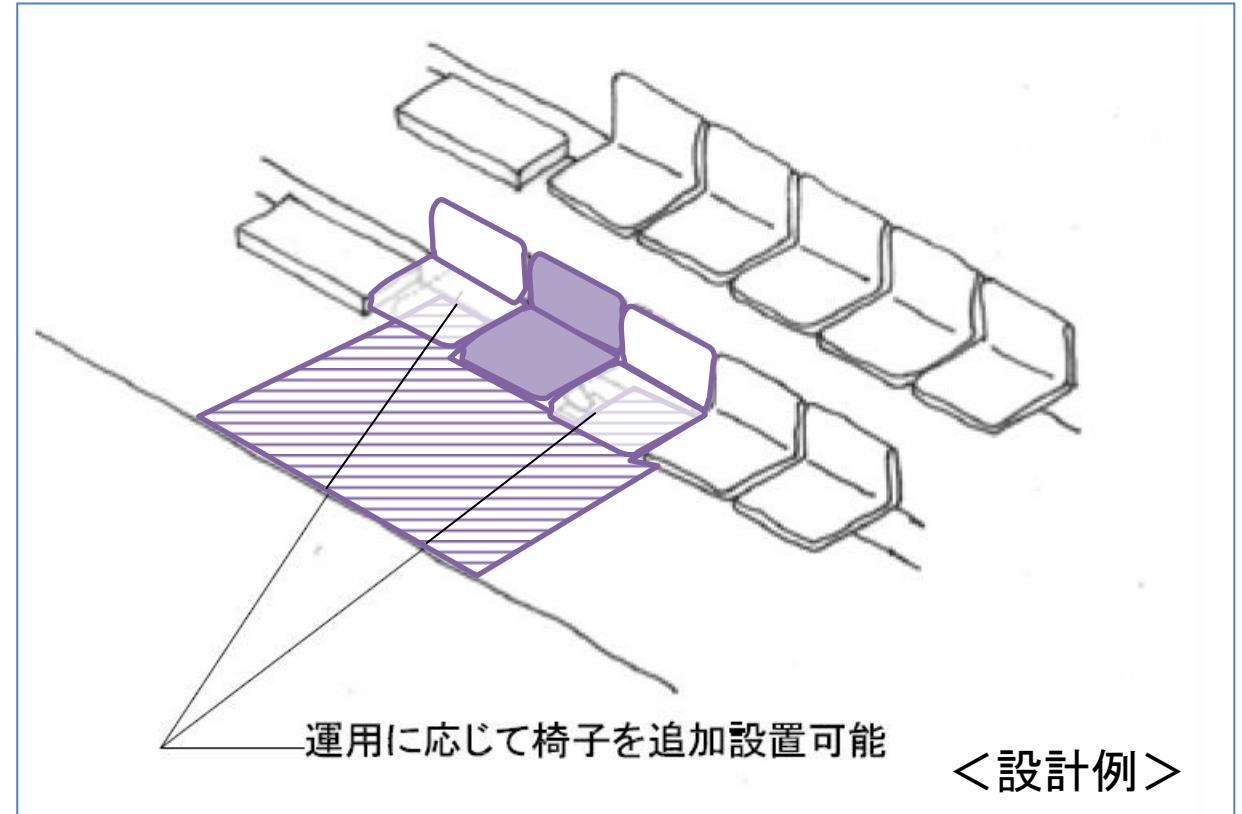
<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>



<付加アメニティ座席の設置>

補助犬ユーザー、足腰・長身・横幅が広い等何らかの理由で配慮された席が必要な人のため前方と側方に広いスペースを確保した座席を設置。

また、設置に際しては、運用に応じて椅子を追加設置可能な設えとする。



主な改修方針

③トイレの改修の考え方

2.2.3 トイレ

2.2.3.1 主要原則

多機能トイレを補完し、機能を分散して配置できるよう、男女別のトイレ内に以下の2種類の便房を設置する。

- ・「簡易型多機能便房」
- ・「個別機能を備えた便房」

2.2.3.2 数と割合

- ・ アクセシブルなトイレ(多機能トイレ、簡易型多機能便房)を必要としている利用者15人に1か所の割合で設置が妥当

<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

<車いす対応トイレの増設>

ガイドラインを踏まえ、必要に応じて、増設等を検討。

<機能分散>

オストメイト洗浄装置やおむつ交換台(ベビーベッド)などを車いす対応トイレ(男女共用)や男子トイレ、女子トイレに分散して配置。



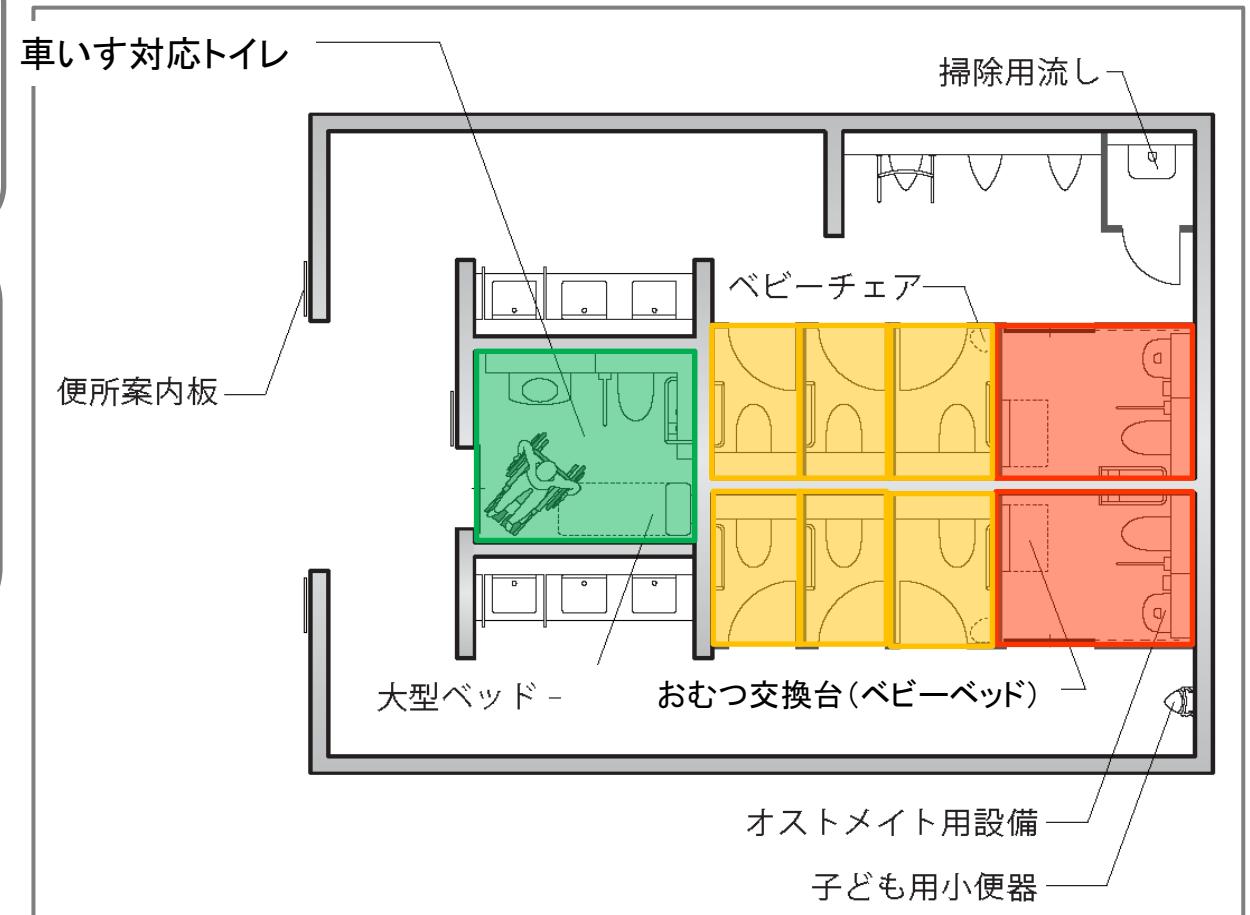
車いす対応トイレ(多機能トイレ)
※男女共用



車いす対応便房(簡易型多機能便房)



個別機能を備えた便房
(手すり、オストメイト洗浄装置等)



<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋の上加工>

主な改修方針

④手すり、点状ブロックの改修の考え方

2. 1. 3. 2. 4 手すり

手すりは階段の両側に取り付けなければならない。

幅員が3,000mmを超える場合には、中央にも設置する。

廊下等の手すりの端や曲がり角および階段の始終点などの要所には、現在位置や行き先などを点字及び普通文字(墨字)で表示することが望ましい。

2. 2. 2. 4 安全への配慮

座席エリアの階段部は、危険防止のため階段降り口に点状ブロックを設置すること。

<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

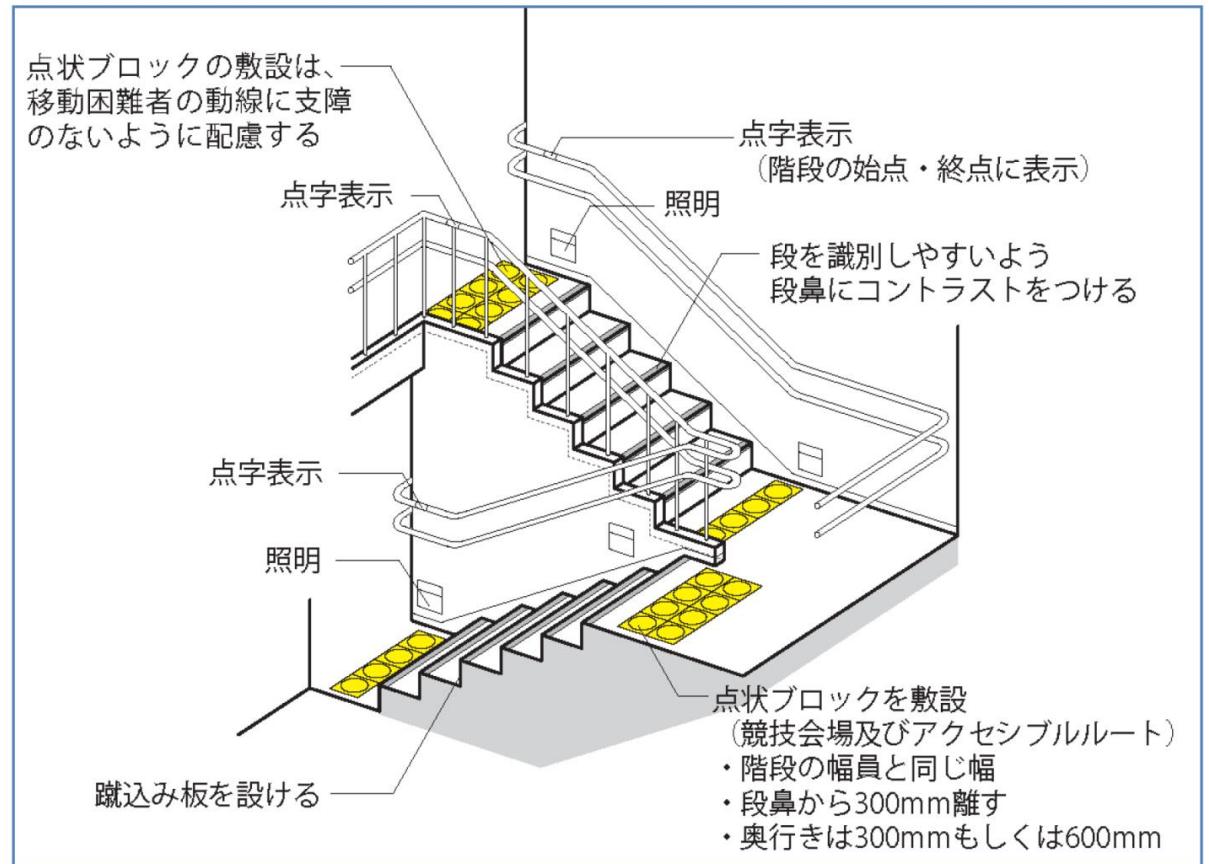


<手すりの設置>

可能な限り階段両側に手すりを設置。
現在位置や行き先などの点字表示。

<点状ブロックの設置>

階段昇降口に点状ブロックを設置。



<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

主な改修方針

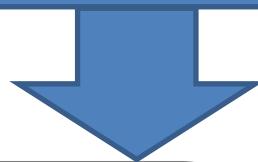
⑤エレベーター改修の考え方

2. 1. 8. 1 エレベーター

エレベーターは、傾斜路や勾配をつけた通路を設けることができない場合、建物や施設の高低差を解消するのに不可欠である。すべてのエレベーターは、国内関係法規に定められた安全に係る技術基準に従って設計・運用され、安全な運転を行う。競技会場や選手村については、必要な数、必要な場所に設置するが、一度に多くの車いす使用者が集中し稼働力が低下する時間帯があるため、エレベーターのかごの大きさ、設置数、配置等を十分に検討する。

エレベーターの設置場所については、主要な経路に隣接して設置する。

<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

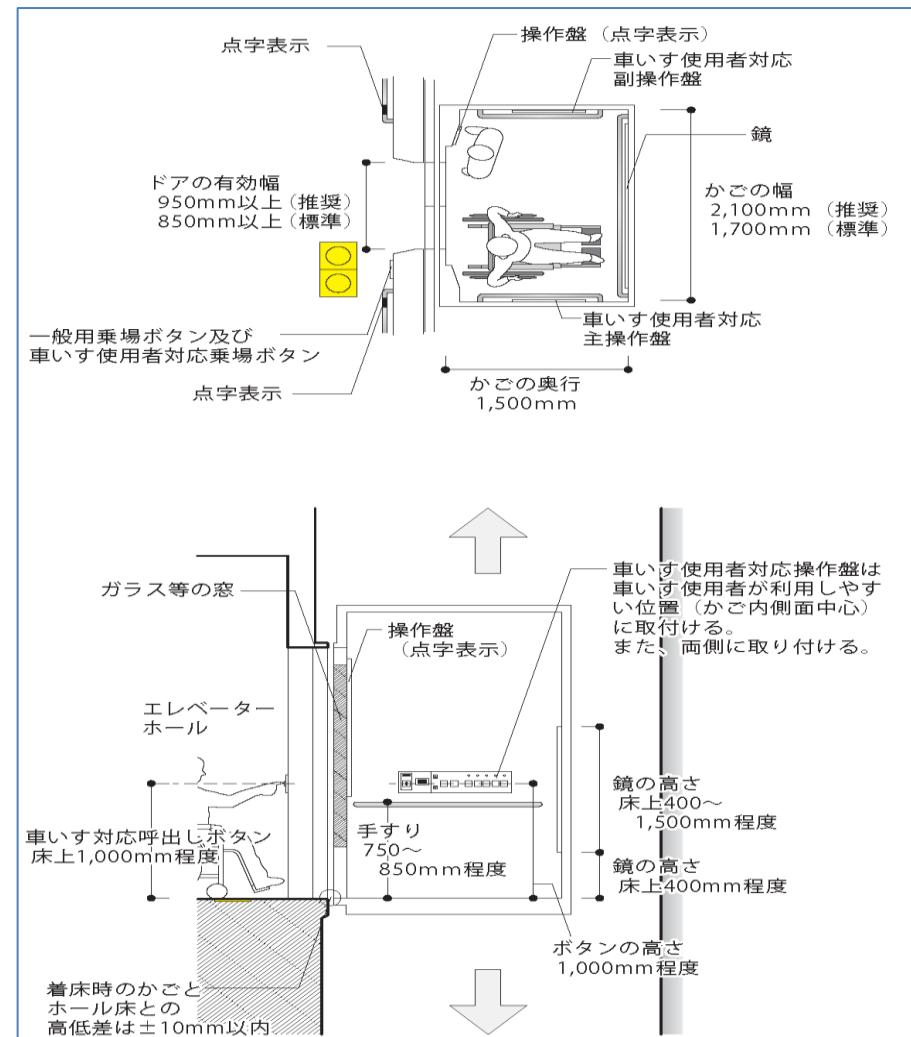


<エレベーターの増設>

車いす使用者用スペースへのアクセス経路に、傾斜路など高低差を解消する手段が充分でない場合や、高低差が大きい箇所について、設置を検討する。

<既存エレベーター改修>

エレベーターかごのサイズアップは、建築構造上、困難であるが、老朽化の状況も勘案しながら、モニター設置や点字表示など聴覚障害や視覚障害などへの対応を検討する。



<Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインより抜粋>

施設改修概要一覧

(観客席、トイレ、エレベーターの数)

		東京体育館 (メインアリーナ)		東京辰巳国際水泳場		東京スタジアム (スタジアム棟)		武蔵野の森総合スポーツプラザ (メインアリーナ)	
		オリンピック : 卓球 パラリンピック : 卓球		オリンピック : 水球		オリンピック : サッカー 近代五種 ラグビー		オリンピック : バドミントン 近代五種(フェンシング) パラリンピック : 車椅子バスケット ボール	
		現状	改修案	現状	改修案	現状	改修案	現状	改修案
観客席	総座席数(固定席)	6,030	5,280	3,600	3,513	49,930	47,872	6,662	6,018
	車いす使用者用スペース	2階 : 29	2階 : 55 (1.04%)	2階 : 20	2階 : 36 (1.02%)	3階 : 342 1階 : 52	3階 : 276 1階 : 52 (0.68%)	3階 : 1	3階 : 69 (1.14%)
	同伴者用座席	-	2階 : 55 (1.04%)	-	2階 : 36以上 (1.02%)	-	3階 : 276 1階 : 52 (0.68%)	-	3階 : 55 (0.91%)
	付加アメニティ席	-	2階 : 47 (0.89%)	-	2階 : 18 (0.51%)	-	3階 : 72 (0.15%)	-	4階 : 36 3階 : 26 (1.03%)
トイレ	車いす対応トイレ	11	11	5	10	15	26	9	9
	観客用	2階 : 4 1階 : 2	2階 : 4 1階 : 2	2階 : 1 1階 : 1	2階 : 3 1階 : 2	3階 : 5 1階 : 2 1階外 : 3	3階 : 14 1階 : 4 1階外 : 3	4階 : 1 3階 : 3 1階 : 2	4階 : 1 3階 : 3 1階 : 2
	その他	1階 : 1 地下1階 : 4	1階 : 1 地下1階 : 4	地下1階 : 3	1階 : 2 地下1階 : 3	1階外 : 1 地下1階 : 4	1階外 : 1 地下1階 : 4	1階 : 3	1階 : 3
エレベーター		2	3 (新設EVは24人乗) <推奨基準サイズ>	2	3 (新設EVは24人乗) <推奨基準サイズ>	7	9 (新設EVは30人乗) <推奨基準以上>	5	5

※ 東京体育館、東京辰巳国際水泳場、東京スタジアムについては、引き続き実施設計で検討を行うため、上表の内容については変更となる場合がある。

これまでワークショップでいただいた主な意見への対応状況

項目	東京体育館 (メインアリーナ)	東京辰巳国際水泳場	東京スタジアム (スタジアム棟)	武蔵野の森総合スポーツプラザ (メインアリーナ)
1 トイレ				
車いすトイレ以外への機能分散	オストメイト洗浄装置やベビーベッドなどを車いす対応トイレ(男女共用)や男子トイレ、女子トイレに分散して配置する。			
車いすスペースを有しない男女共用トイレの設置	スペースが確保できないため、設置困難。	スペースが確保できないため、設置困難。 但し、車いす対応トイレ(男女共用)を追加設置。	スペースが確保できないため、設置困難。 但し、車いす対応便房を追加設置。	スペースが確保できないため、設置困難。
手すり付トイレの複数配置	複数の便房に手すりを設置することを検討中。			複数の便房に手すりを設置する。
トイレ内のボタン配置の統一	可能な限り統一することを検討中。			可能な限り統一する。
個室トイレのドア鍵の仕様	施錠状態が視覚的に判別できるようになっている。			
個室トイレ内の災害認知方法	フラッシュライトを可能な限り設置することを検討中。 館内放送が聞こえるようになっている。			観客が主に使用するトイレの全ての便房にフラッシュライトを設置する。 館内放送が聞こえるようになっている。
2 観客席				
車いす席の垂直・水平分散配置	水平分散配置を行う。 災害時に安全に避難できる階に車いす席を配置する必要があるため、垂直分散は困難。		垂直分散、水平分散配置を行う。	水平分散配置を行う。 災害時に安全に避難できる階に車いす席を配置する必要があるため、垂直分散は困難。
付加アメニティ席の垂直・水平分散配置	水平分散配置を行う。 前方と側方に広いスペースを確保できる場所が限られているため、垂直分散は困難。			垂直・水平分散配置を行う。
車いす席・同伴者席・付加アメニティ席の仕様(固定式・可動式・充電用コンセント・カップホルダー等)	同伴者席は可動席を検討しており、必要に応じて様々なレイアウトが可能。 充電用コンセントは、設置数、設置場所について検討中。 可動席のため、カップホルダー無し。			同伴者席は可動席としており、必要に応じて様々なレイアウトが可能。 充電用コンセントは、設置数、設置場所について検討する予定。 可動席のため、カップホルダー無し。
手がかりの設置	現状、設置無し。 構造的に設置困難。		現状、急傾斜の箇所に設置済み。 構造的に増設困難。	現状、設置無し。 両側設置困難のため、片側設置を行う。
注意喚起の点状ブロックの設置	不足箇所に追加設置を検討中。			不足箇所に追加設置を行う。

これまでワークショップでいただいた主な意見への対応状況

項目	東京体育館 (メインアリーナ)	東京辰巳国際水泳場	東京スタジアム (スタジアム棟)	武蔵野の森総合スポーツプラザ (メインアリーナ)
3 情報保障				
音声案内設備の設置	設置可能な箇所を検討中。 ただし、観客席に面した位置にあるトイレについては、観戦等に影響があるため設置できない。			設置済み。 ただし、観客席に面した場所にあるトイレについては、観戦等に影響があるため設置していない。
集団補聴設備の設置	設置無し。自由な席の選択ができるよう、機器貸出による対応を検討中。		大型スクリーンが見やすいメインスタンド中央付近に設置されている。	
大型モニターの設置	設置されている。イベント時には必要に応じてイベント主催者が追加設置する場合も想定される。			
エレベーターの閉じ込め対策	新設するエレベーターについてモニター設置等を検討中。			応答状態が視覚的に判別できるようにボタンを改修。
4 その他				
救護室の配置(看護師の配置含む)	スペースが確保できないため、恒久設置困難。但し、医務室、休憩室は有。また、イベントにより一時的に救護室として会議室等を使用する場合有。看護師の配置は運用にて対応。	スペースが確保できないため、恒久設置困難。但し、医務室、休憩室は有。看護師の配置は運用にて対応。	コンコース階に救護室有。コンコース階以外の観客利用階には、スペースが確保できないため追加設置困難。看護師の配置は運用にて対応。	喫煙室を改修し、観客利用階に救護室を設置する。 看護師の配置は運用にて対応。
サイン計画	ピクトグラムを中心としたサイン計画を検討中。			今後の検討により、必要になった場合は追加で改修を行う。
階段の段鼻の色彩	選手・観客の主要動線上の階段で、コントラストが不足している箇所について、改修することを検討中。			選手・観客の主要動線上の階段で、コントラストが不足している箇所について、改修する。
異性介助の為の男女共用更衣室の設置	プール棟には設置されている。その他のエリアはスペースが確保できないため、設置困難。	スペースが確保できないため、設置困難。		選手エリアに設置されている。